

昭和電工株式会社 2021年1Q 決算説明会 Q&A要旨

日時：2021年5月13日（木）18:00～19:00

説明者：代表取締役常務執行役員 CFO 竹内 元浩

*内容は、開催日時点の情報に基づいております。

【石油化学セグメント】

Q 2Qの営業利益は1Q比減益の見通しだが、主要因は。

A 2Qはナフサ受払差が1Qより縮小すると見ている。

【化学品セグメント】

Q 電子材料用高純度ガスの2Q見通しは。

A 電子材料用高純度ガスの半導体向け需要は非常に強い。

1Qには中国旧正月の影響を受け若干弱含んだものの、2Qは1Q比で強含むと見ている。

【エレクトロニクスセグメント】

（SiCエピタキシャルウエハー）

Q SiCエピタキシャルウエハーの2Q見通しは。

A SiCエピタキシャルウエハーは、海外向けは弱含んでいるものの、国内は電鉄向けなどを中心に堅調であり、1Qから大きな変化なく推移すると見ている。

Q 5月6日に発表した独インフィニオン社との長期販売および共同開発に関する契約締結について、当社のどこが評価されたのか。

A 当社製品の高い品質、開発体制を認めていただいた。今後、拡大する需要に対応しつつ、共同開発によりコストを低減させ、合わせて品質向上も図っていく。

【無機セグメント】

Q 黒鉛電極の販売状況は。

A 1Qの販売数量は昨年4Q並み、2Qは1Qを大幅に上回る見込み。

Q 販売価格の動向は。

A 販売は主に半年間で契約しており、需要動向との間にタイムラグが生じる。上期の販売価格はほぼ期初の見立て通りに推移しており、下期は価格上昇を見込んでいる。

【昭和電工マテリアルズセグメント】

Q 1Qの業績が好調に推移した要因は。

A 情報通信は1Qには日本の正月、中国の春節による稼働日減などの季節要因の影響を若干受けたものの、前年4Qからの半導体関連材料向けを中心に好調が継続している。また、モビリティ部材は昨年後半からの自動車生産の回復が1Qにも継続したこと、蓄電デバイスは産業用電池の年度末需要から好調に推移した。

Q 2Qの営業利益は1Q比減益の見通しだが、主要因は。

A 2Qは1Q比で大きな変化を見込んでいるわけではないが、生産ラインのメンテナンスの経費や、統合関連費用、原材料価格上昇の影響を織り込んでいる。

以上

*本資料の将来見通し等に関する記述は、今後以下のような様々な要因により実際の業績と大きく異なる結果となる可能性があります。
・COVID-19拡大が世界経済に与える影響、経済情勢、ナフサ等原材料価格、黒鉛電極製品等の需要動向および市況、為替レート
・法改正や訴訟等のリスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
決算内容につきましては、2021年5月13日発表の弊社決算短信をご参照ください。